

# ハスモンヨトウ3齢幼虫の薬剤感受性検定

栃木県農業環境指導センター

## 1 検定方法

### (1) 供試虫

平成20年8月に県内9地点のだいずほ場からハスモンヨトウの卵及び1齢幼虫を採集し、個体群毎にインセクタLFSで3齢幼虫になるまで飼育した後、検定に用いた。また、個体数が足りなかった場合は、それぞれ累代飼育した幼虫を検定に用いた。

### (2) 供試薬剤

表1. 検定に用いた薬剤

系統名	薬剤名	商品名	希釈倍率 (倍)
IGR剤	クロルフルアズロン乳剤	アタブロン乳剤(I社製)	2000
	フルフェノクスロン乳剤	カスケード乳剤	4000
	クロマフェノジド水和剤	マトリックフロアブル(N社製)	2000
	メキシフェノジド水和剤	ファルコンフロアブル	4000
BT剤	BT水和剤(クルスターキ系株)	デルフィン顆粒水和剤	1000
	BT水和剤(アイザワイ系株)	フローバックDF	1000
合成ピレスロイド	エトフェンブロックス乳剤	トレボン乳剤	2000
その他	エマメクチン安息香酸塩乳剤	アフーム乳剤	1000
	クロルフェナピル水和剤	コテツフロアブル(K社製)	2000
	ピリダリル水和剤	プレオフロアブル	1000
	インドキサカルブMP水和剤	トルネードフロアブル(K社製)	2000
	フルベンジアミド水和剤	フェニックス顆粒水和剤	2000
対照	水+展着剤		

### (3) 検定方法

薬剤は水道水で規定の濃度に希釈し、展着剤(マイリノ-5000倍)を加用した。対照として水道水を使用し、展着剤を同様に加用した。直径約3cmのキャベツ葉10枚を、用意した薬剤に30秒以上浸して乾かした。飼育容器に、キャベツ葉と供試虫5頭を入れ、IGR剤、BT剤及び対照については接種8日後、それ以外の剤では接種4日後に生死を判定した。各処理3反復とした。

## 2 結果の概要

(1) アタブロン乳剤(I社製)、カスケード乳剤、マトリックフロアブル(N社製)、ファルコンフロアブル、フローバックDF、アフーム乳剤、コテツフロアブル(K社製)、プレオフロアブル、トルネードフロアブル(K社製)、フェニックス顆粒水和剤、トレボン乳剤では効果は高かった。

(2) デルフィン顆粒水和剤では、比較的效果は高かったが、ばらつきがあった。

表2. 各種薬剤によるハスモンヨトウ3齢幼虫の補正死虫率(%)<sup>1)</sup>

商品名	希釈倍数 (倍)	各地点の補正死虫率(%) <sup>2)</sup>										平均値 (%)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
アタブロン乳剤(I社製)	2000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
カスケード乳剤	4000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	86.7	100.0	93.3	93.3	93.3	97.0
マトリックフロアブル(N社製)	2000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ファルコンフロアブル	4000	100.0	100.0	100.0	73.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.0
デルフィン顆粒水和剤	1000	80.0	100.0	100.0	100.0	60.0	53.3	66.7	73.3	80.0	79.3	80.0	79.3
フローバックDF	1000	93.3	100.0	100.0	100.0	86.7	100.0	93.3	100.0	100.0	100.0	100.0	97.0
アフーム乳剤	1000	93.3	100.0	93.3	80.0	53.3	100.0	93.3	100.0	100.0	100.0	100.0	90.4
コテツフロアブル(K社製)	2000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	86.7	80.0	100.0	96.3	100.0	96.3
プレオフロアブル	1000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	86.7	93.3	100.0	97.8	100.0	97.8
トルネードフロアブル(K社製)	2000	100.0	50.0	100.0	100.0	86.7	100.0	93.3	100.0	100.0	92.2	100.0	92.2
フェニックス顆粒水和剤	2000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	86.7	100.0	100.0	98.5	100.0	98.5
トレボン乳剤	2000	100.0	73.3	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	100.0	96.2	100.0	96.2
水+展着剤 <sup>3)</sup>		(100.0)	(93.3)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(99.3)

注1) 補正死虫率(%) = {(対照生存虫率 - 処理生存虫率) / 対照生存虫率} × 100。苦悶虫は死虫とした。

注2) -は、個体数不足による未試験を示す

注3) 対照の括弧内の値は生存虫率を示す